

令和8年度 青森県県土整備部優良建設関連業務表彰

業務の概要

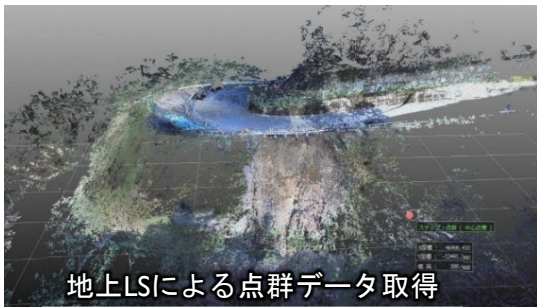
業務名	線第4016号 国道282号 道路災害防除（災害復旧）測量・設計業務委託		
受注者名	株式会社 増川プロジェクト技建		
業務箇所	平川市碓ヶ関 地内	委託料	7,227,000円
履行期間	令和7年9月25日～令和8年3月19日	成績評定点	85点
完成年月日	令和8年3月19日	推薦公所	中南県土整備事務所
管理技術者	佐々木 元太	総括調査員	鎌田 賢一
業務概要	現地測量 1式 擁壁工設計 1式	主任調査員	奈良岡 篤
		調査員	西谷 大朗

推薦理由

本業務は、令和7年8月の豪雨で被災した国道282号の災害復旧として、現地測量、地質調査および設計を実施したものである。路肩崩壊により不安定な現場条件であったが、地上レーザースキャナやUAV等のICT技術を積極的に導入し、調査精度の向上と大幅な工期短縮を両立させている。また、自主提案の3Dモデルによる施工ステップの可視化は、関係機関との協議において迅速かつ確実な合意形成に大きく寄与し、災害復旧関係者にとって極めて有用な資料となり得り、設計成果の向上が図られた。更に、災害査定が差し迫る状況において、工程の一元管理や他部署のバックアップ体制の構築、積算業務についても主体的に完遂するなど、全社を挙げて業務に取り組んでおり、災害復旧に多大な貢献をした。

以上、「委託業務成績評定点が特に優れているもの」および「その他、他の模範となると認められるもの」に該当するため、青森県県土整備部優良建設関連業務として推薦するものである。

写真・図面等



3D施工ステップ

STEP-1	片側交互交通規制、構造物撤去工、掘削工	STEP-2	小口止工設置	STEP-3	アンカー式空積ブロック工
STEP-4	天端コンクリート打設	STEP-5	法面工（侵食防止用植生マット）	STEP-6	防壊補工、舗装復旧工

受賞コメント

この度は、名誉ある表彰を賜り心より感謝申し上げます。ご指導を賜りました中南県土整備事務所並びに関係職員の皆様に厚く御礼申し上げます。

本業務では、迅速な対応が求められる中、最新のICT技術の活用と組織的な品質管理を徹底し、精確な成果の提供に努めました。現在、建設産業は大きな転換期にありますが、私共は『青森県DXロードマップ』の実現に寄与すべく、3次元データの利活用による社会インフラ管理の高度化と、担い手確保に資する生産性向上を推進しております。

今回の受賞を励みに、さらなる技術研鑽に励み、社会基盤を支える企業として誠実な業務遂行に邁進し、県土の安全・安心に貢献してまいります。今後とも、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役
福土 智美



管理技術者
佐々木 元太

令和8年度 青森県県土整備部優良建設関連業務表彰

業務名

繰第4016号 国道282号 道路災害防除（災害復旧）測量・設計業務委託

受注者名

株式会社 増川プロジェクト技建

推薦業務及び受注者の概要

以下の欠格要件について

■該当しない □該当する

- 受注者が青森県建設業者等指名停止要領に基づく指名停止又は文書注意を令和6年7月8日以降に受けた、または受ける予定がある
- その他表彰にふさわしくない事象がある

その他説明資料

・創意工夫・技術提案①【新旧技術の融合による調査業務の最適化（生産性向上）】

広範囲で複雑な被災地において、既存データの活用とTS（高精度計測）・地上LS（広域計測）の使い分けにより、制度確保と工期短縮を両立。ドローン空撮も併用し、迅速な設計判断と業務全体の効率化を実現。

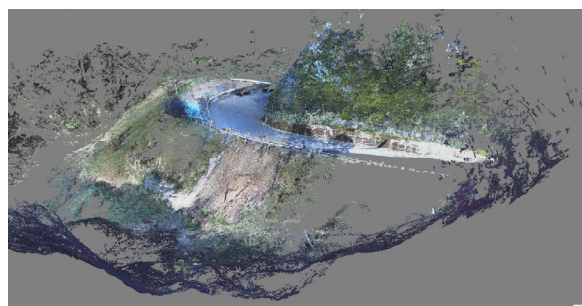
1. ドローンによる空撮

ドローン空撮データは、設計・査定時の判断に不可欠な被災斜面の俯瞰的な情報を瞬時に提供し、設計プロセス全体の効率化に貢献。



2. 地上レーザースキャナによる点群データ取得【NETIS：KK-220044-VE】

近接する令和4年度の災害復旧事業の測量データを最大限活用し、現地測量の重複を排除して大幅な作業期間の短縮を図るとともに、被災部はTS（トータルステーション）によるミリ単位の高精度計測を担保し、周辺広域は地上LS（レーザースキャナ）による迅速かつ面的なデータ取得を実施。



3. 3次元CADシステムの活用【NETIS：KK-160030-VE】

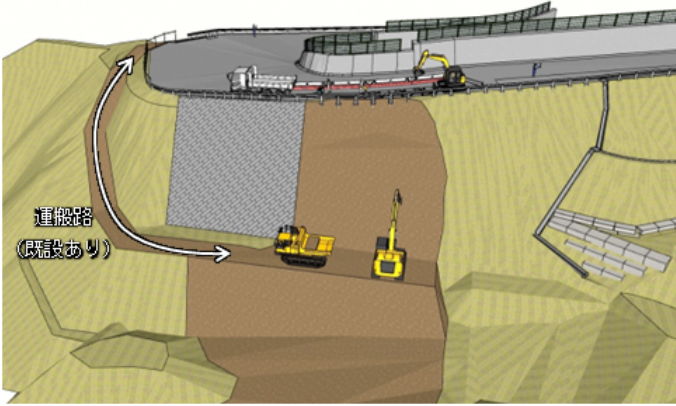
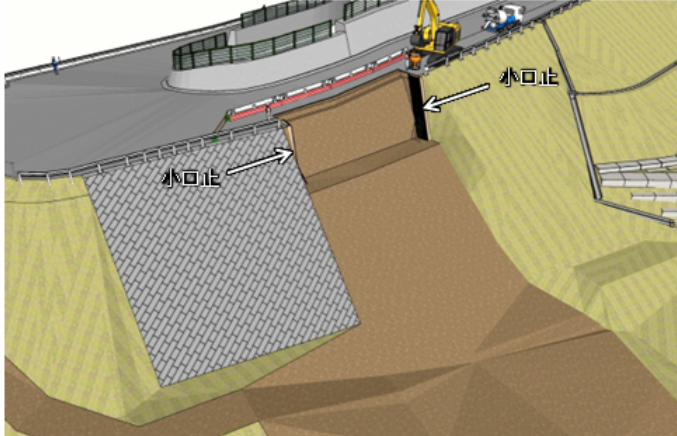
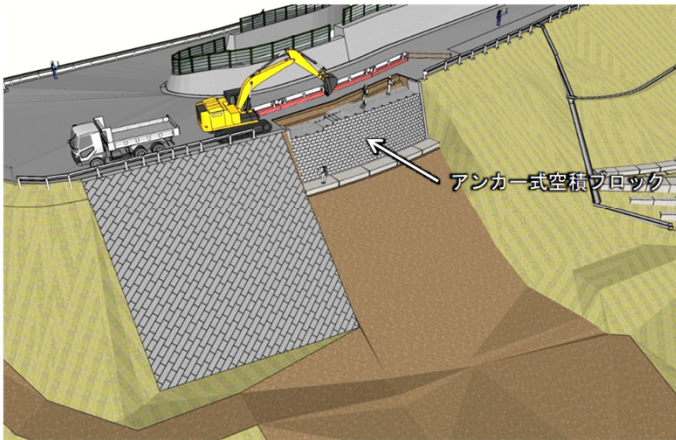
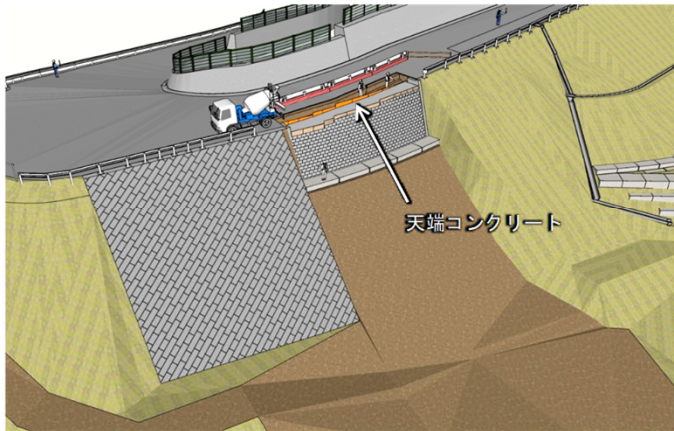
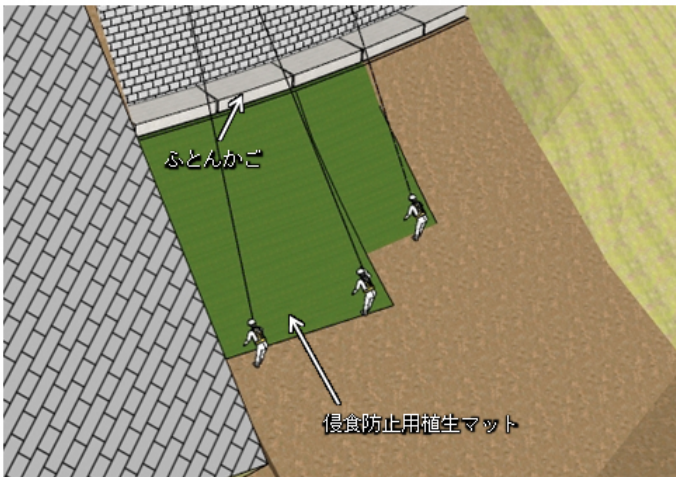
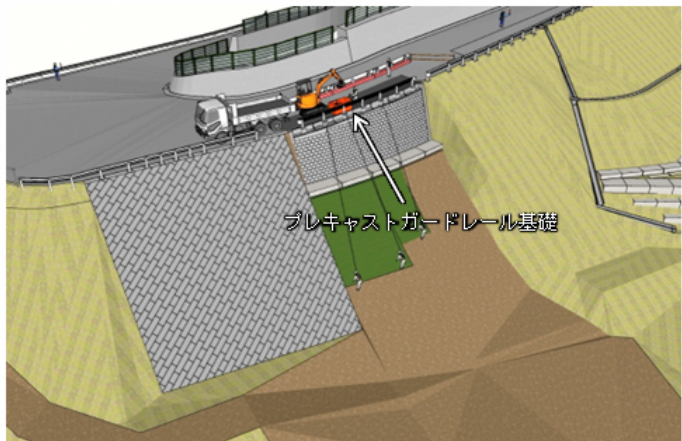
取得した点群データを取り込み、3次元CADシステムを活用し、TINデータを作成。現況縦横断面図を自動抽出することで、測量結果を待たずに工法検討（予備設計）を実施した。

図名	第1章 プラン・断面図	第2章 プラン・断面図	第3章 断面・断面図	第4章 プラン・断面図	第5章 断面・断面図	第6章 断面・断面図	第7章 断面・断面図	第8章 断面・断面図	第9章 断面・断面図	第10章 断面・断面図
図面内容	第1章 プラン・断面図	第2章 プラン・断面図	第3章 断面・断面図	第4章 プラン・断面図	第5章 断面・断面図	第6章 断面・断面図	第7章 断面・断面図	第8章 断面・断面図	第9章 断面・断面図	第10章 断面・断面図
図面説明	第1章 プラン・断面図	第2章 プラン・断面図	第3章 断面・断面図	第4章 プラン・断面図	第5章 断面・断面図	第6章 断面・断面図	第7章 断面・断面図	第8章 断面・断面図	第9章 断面・断面図	第10章 断面・断面図
図面作成	第1章 プラン・断面図	第2章 プラン・断面図	第3章 断面・断面図	第4章 プラン・断面図	第5章 断面・断面図	第6章 断面・断面図	第7章 断面・断面図	第8章 断面・断面図	第9章 断面・断面図	第10章 断面・断面図
図面確認	第1章 プラン・断面図	第2章 プラン・断面図	第3章 断面・断面図	第4章 プラン・断面図	第5章 断面・断面図	第6章 断面・断面図	第7章 断面・断面図	第8章 断面・断面図	第9章 断面・断面図	第10章 断面・断面図
図面提出	第1章 プラン・断面図	第2章 プラン・断面図	第3章 断面・断面図	第4章 プラン・断面図	第5章 断面・断面図	第6章 断面・断面図	第7章 断面・断面図	第8章 断面・断面図	第9章 断面・断面図	第10章 断面・断面図

・ 創意工夫・技術提案②【3D モデル活用による合意形成の迅速化と確実化】

3Dモデルによる施工段階を想定したパース図を作成し、関係機関協議を含む合意形成の場で活用した。二次元図面では伝わりにくかった構造物の形状・配置などを、3Dモデルパース図により具体的に表現することで、イメージを共有し、議論の活性化や合意形成の促進に繋がった。

災害査定や関係機関との協議において、施工内容に対する相手方の理解が深まり、事業への合意形成をスムーズに図ることができた。以後、この成果は、今後の工事受注者など、災害復旧関係者に対して、有用な資料となると考えられる。

STEP-1	片側交互交通規制、構造物撤去工、掘削工	STEP-2	小口止工設置
 運搬路 (既設あり)		 小口止	
STEP-3	アンカー式空積ブロック工	STEP-4	天端コンクリート打設
 アンカー式空積ブロック		 天端コンクリート	
STEP-5	法面工（侵食防止用植生マット）	STEP-6	防護柵工、舗装復旧工
 ふとんかご 侵食防止用植生マット		 プレキャストガードレール基礎	

・業務実施上の課題への社内全体での取り組み【逼迫した履行期限と品質確保の両立】

9月26日の初回打合せから10月23日の提出期限まで、実質1ヶ月弱という猶予のない履行期限であった。この極めて厳しい工程に対し、クラウドツールによる一元管理や他部署との連携によるバックアップ体制を構築。組織的な機動力を発揮することで、設計品質の維持と期限内の完遂を両立させた。

1. 実施スケジュール

工程的に厳しいスケジュールが想定されたため、社内全体での対応を図ることで、手戻りや品質低下を防止。

日 Sun	月 Mon	火 Tue	水 Wed	木 Thu	金 Fri	土 Sat
21	22	23 秋分の日	24	25	26 初回打合せ	27
28	29	30	1	2	3	4
		現地測量・地質調査		予備設計（工法一次選定）		
5	6	7	8	9	10	11
		詳細設計（工法二次選定）		図面作成		
12	13 スポーツの日	14	15	16	17	18
		図面チェック・数量計算		第2回打合せ	数量計算	
19	20	21	22	23	24	25
		数量チェック・積算資料・工事費積算		目論見書提出期限		
26	27	28	29	30	31	1

2. クラウドツールによる工程の一元管理

クラウドサービス「サイボウズ Office」を活用し、全社員のスケジュール、社内メール、タスク管理を可視化。

これにより業務全体の進捗状況を常に把握し、計画的な工程管理を推進した。

① 残業遵守時間 完全施行経過「2020年（令和2年）4月1日～」

1) 「36協定」締結後の残業時間：4.5時間/月、3.60時間/年、6回/年まで
2) 「36協定」+「特別条項」：7.20時間/年
3) 任意の2～6ヶ月平均：8.0時間/月（休日労働含む）
4) 1ヶ月最大：9.9.5時間/月（休日労働含む）

スケジュール 2025年3月4日（火）

グループ [グループ表示]

4 (火) 5 (水) 6 (木) 7 (金) 8 (土)

佐々木 元太

8:30-12:00 8:30-12:00 8:30-12:00 8:30-12:00 8:30-12:00

【中堅No.】 6) 電子成果品出力、エラーチェック 【中堅No.】 6) 納品準備 【中堅No.】 3) 報告書 【中堅No.】 3) 報告書 【中堅No.】 3) 報告書

13:00-17:30 13:00-17:30 13:00-17:30 13:00-17:30 13:00-17:30

【中堅No.】 3) 電子成果品格納 【中堅No.】 3) 報告書 【中堅No.】 3) 報告書 【中堅No.】 3) 報告書

14:30-17:30 14:30-17:30 14:30-17:30 14:30-17:30 14:30-17:30

【中堅No.】 3) 報告書 【中堅No.】 3) 報告書 【中堅No.】 3) 報告書

カレンダー 2025年3月

月 火 水 木 金 土 日

24 25 26 27 28 1 2

3 4 5 6 7 8 9

10 11 12 13 14 15 16

17 18 19 20 21 22 23

24 25 26 27 28 29 30

31 1 2 3 4 5 6

ToDoリスト

リンク集

佐々木 元太さんの最新情報

お知らせ

お知らせはありません。

トップに常に出す情報

☒ タイトル

☐ 時間外特（残業時）の外部からの電話対応についてのお問い合わせ（遠川プロジェクト） お連れ様です。

チェックした項目を、トップから探す

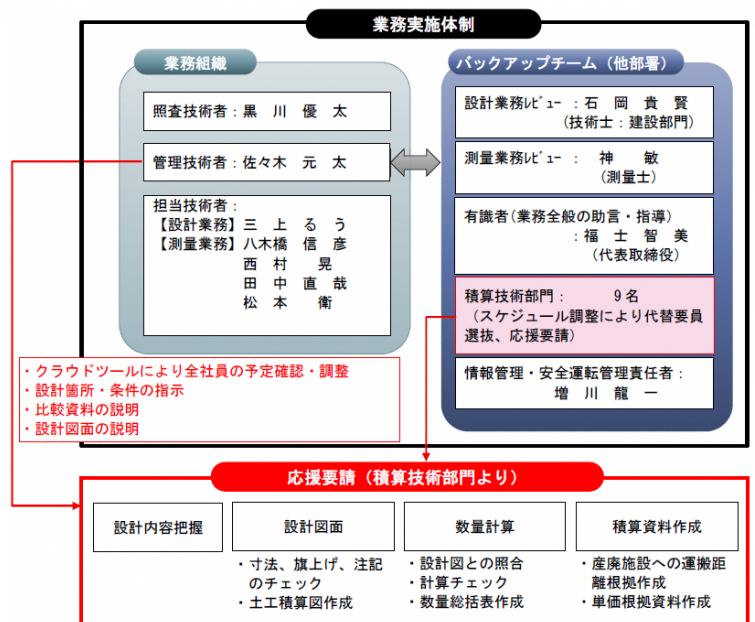
既読一覧

サイボウズからのお知らせ

お知らせはありません。（過去のお知らせはこちら）

3. 積算技術部門からのバックアップ体制

工事発注や工事変更図書作成に優れた、社内「積算技術部門」からのバックアップチーム体制を構築し、図面チェック・数量計算、積算資料作成等について、業務を細分化し、設計品質を確保。



・業務実施上の取り組み【安全管理・環境保全】

急峻な地形や落石、野生動物への警戒が不可欠である現場条件であるため、監視員の配置や保護具の着用を徹底し、安全確保に努めた。併せて、現場周辺の清掃活動を並行して行い、環境保全と円滑な業務遂行を両立させた。

1. 安全対策（安全教育と現場での安全管理）

現地作業着手に際し、弊社の安全確認テキストに基づき安全教育を徹底した。また、安全対策用具の確認を実施し、労働災害の未然防止を図った。

さらに、各地でクマの目撃情報が相次いでいる現状、当該路線においても目撃情報があるため、作業開始前には爆竹を鳴らし、周知・威嚇を行った。

安全確認テキスト

MPG 安全教育資料

安全で快適な現場を目指して！



株式会社 堀川プロジェクト技研

カラーコーン、看板、車留め



作業前ミーティング



害虫・害獣対策用品



熊避けピストル（威嚇）



熊避けスプレー 使用方法確認



2. 環境保全（清掃活動）

測量範囲内にはごみが散乱しており、作業員がこれらを踏んで転倒・負傷することを防止するため、事前に社会奉仕活動を兼ねた清掃活動を実施した。これにより、作業員の安全を確保した。



沢



道路



不法投棄